

第13回



くすりのしおりクラブ担当者会議

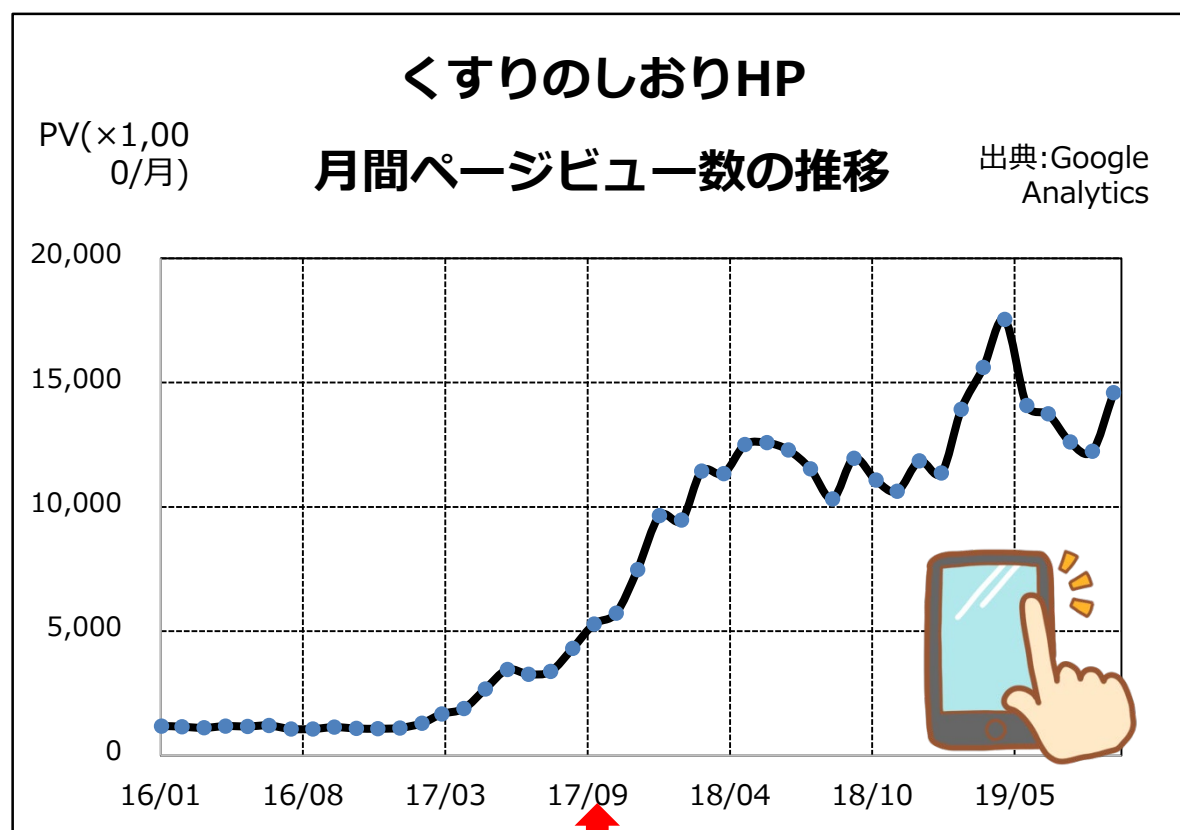
しおりに関する最近の話題 と今後の展望



2020年2月26日
くすりの適正使用協議会

「くすりのしおり」アクセス数は伸び続けています

- 2019年1-12月：16,631万PV＝月平均1,386万PV
＜参考＞ 2018年度：月平均1,132万PV



Google検索式変更

医薬品名で検索し、上位表示を閲覧する方が多い

アクセス入口

Organic Search (検索エンジン結果)	93%
Google:62%、Yahoo:31%	
Direct (ブックマーク、URL等)	4.5%
その他	2.5%

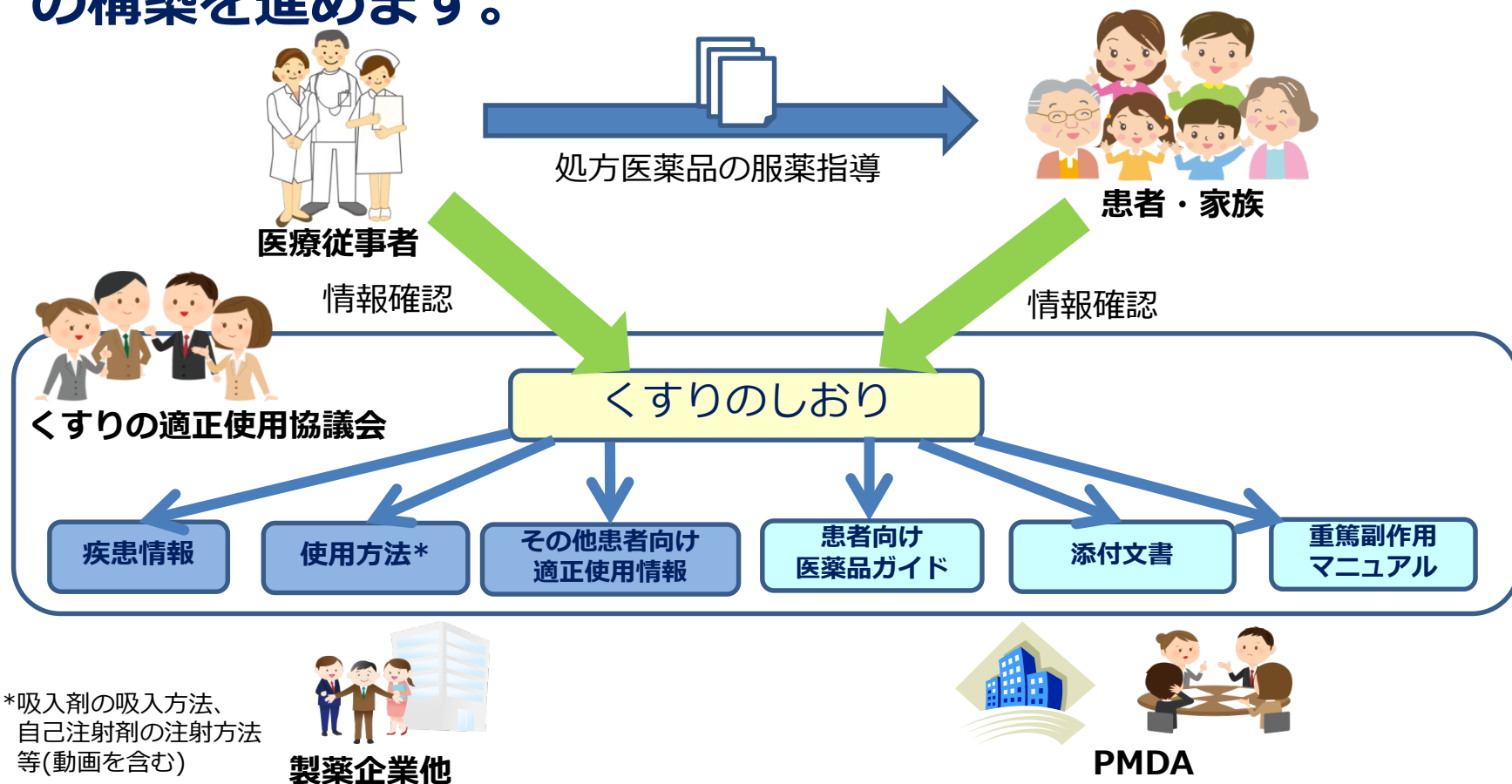
アクセス媒体

モバイル端末	78.8%
パソコン	14.6%
タブレット端末	6.6%

スマホ閲覧が中心

アクセスされた「くすりのしおり」から関連情報へ

- アクセス数が伸びている「くすりのしおり」サイトを入口として、信頼できる各種情報に連携できる「信頼できるサイト」の構築を進めます。



4月からスタートする当協議会の 新たな中期事業計画

最重点課題は、

■信頼できるサイトの構築

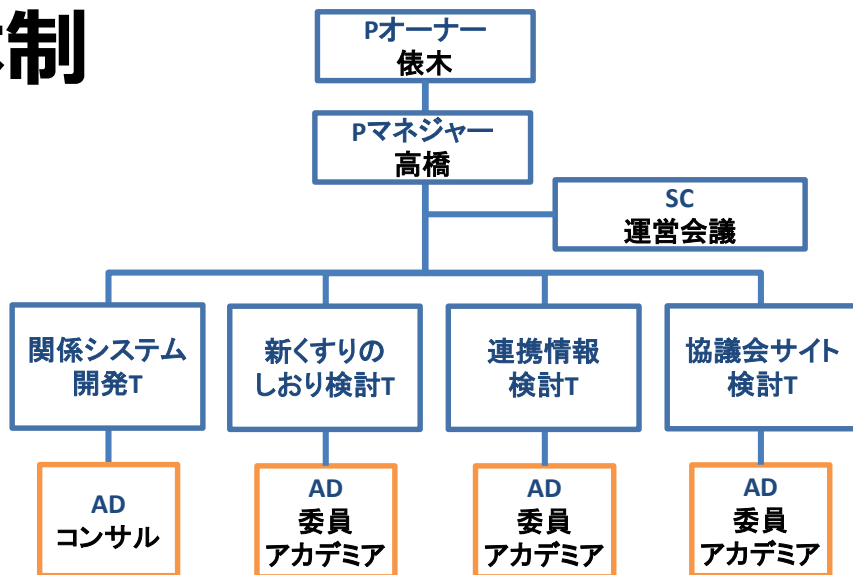
1. くすりのしおりを軸とした適正使用情報提供
 - くすりのしおりの内容の見直し
 - 連携する患者向け資材の認証基準策定
 - 製品Q&Aの連携・協働
2. 協議会サイト全体の適正化

他に以下の課題にもチャレンジします

- 教育・一般啓発の基盤構築（情報ルート開発等）
- 患者・医療関係者連携の基盤構築（情報ルート開発等）
- DB研究成果創出に向けた基盤構築（連携・協働）

サイト構築には様々な協力を頂く予定です

1. 体制



- ✓ システム開発ベンダー選定
 - ・ 1月より要求事項検討

2. 協力依頼

- ✓ 製薬協
 - ・ 販売促進GL準拠確認
- ✓ アカデミア
 - ・ しおり内容・連携情報アドバイス
- ✓ 厚生労働省 安全対策課、監視指導麻薬課
 - ・ 事前確認、アドバイス

「くすりのしおり」お役立ち度調査

- 「くすりのしおり®」の情報がどの程度役立っているのかについて、「くすりのしおり®」サイトにおいて、星5つでの評価をお願い。

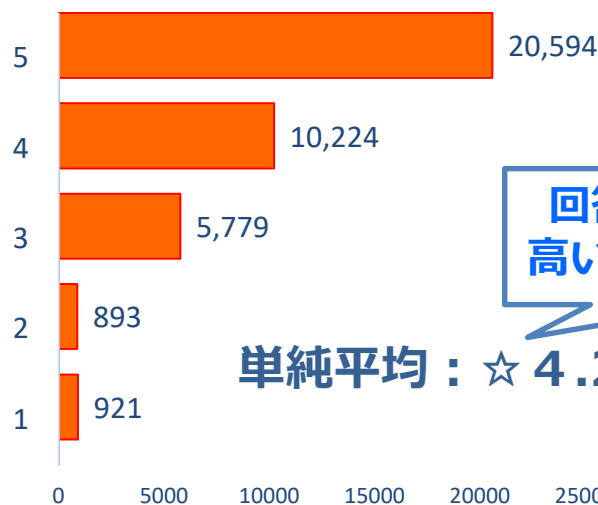
- 調査期間：2019/10/24～2020/2/11

- 調査結果：単純平均で☆4.27の高評価

回答数：38,411件

回答者属性内訳：一般：医療従事者 = 3：1

スマホ利用率：一般：79%、医療従事者：89%



回答頂いた方々からは
高い評価を頂いています

単純平均：☆4.27



サイト対応①

◆バナー対応

適正使用関連の情報を追加

- ・ AMR、インフルエンザ注意喚起

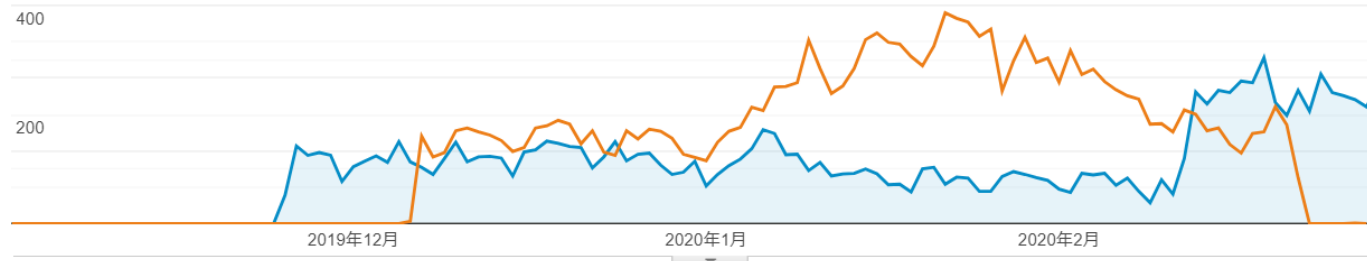
すべてのしおりから
閲覧頂けます



インフルエンザバナー アクセス状況

2019/11/01 - 2020/02/29: ● 合計イベント数
2018/11/01 - 2019/02/28: ● 合計イベント数

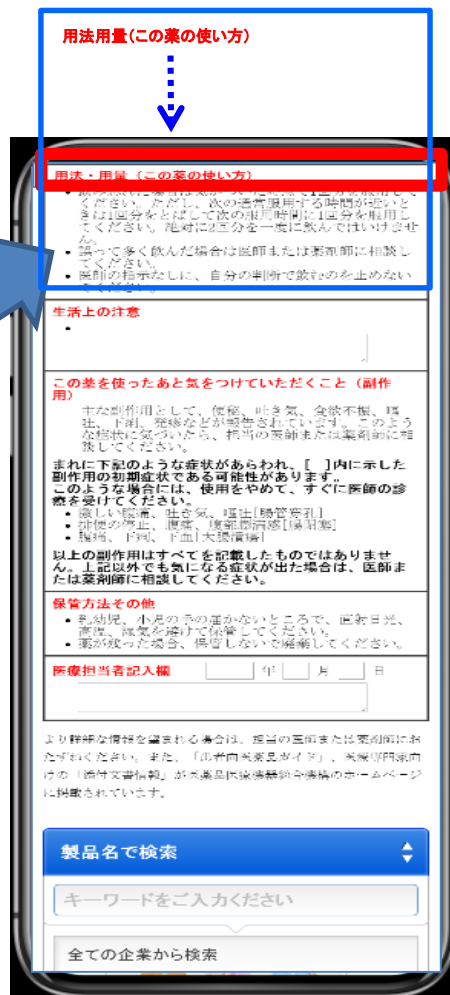
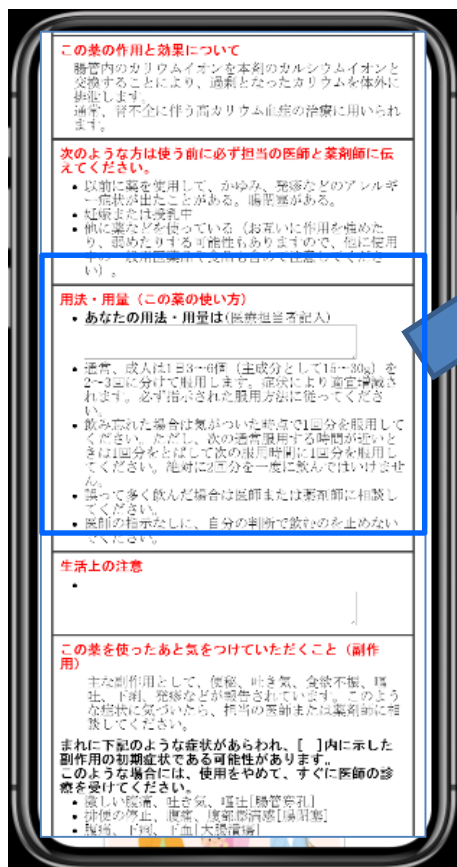
※オレンジ:2018-2019 青:2019-2020



サイト対応②

◆ スマホ閲覧者が多いことを踏まえ、スマホ画面をより見やすくする改修を行いました。

画面設定の変更（イメージ）



自社のくすり等で
実際にご覧ください

スクロールした際に
「項目名」が残り、
何を見ているか
わかるように改修

DIA JAPAN 2019 (11/12) にて報告、意見交換

◆ S40 609会議室 11/12 9:00-10:30

患者さんの求める医薬品情報の提供方法を考える

・ 座長 一般社団法人 くすりの適正使用協議会 俵木 登美子

1. 信頼できる医薬品情報を患者さんに届ける取組み
 - － 一般社団法人 くすりの適正使用協議会 高橋 洋一郎
2. 患者さんとして信頼できる医薬品情報をどのように届けてほしいか
 - － 任意患者団体 MYSTAR Japan 能勢 謙介
3. 薬局における情報提供の取組～情報からコミュニケーションへ
 - － 株式会社富士薬品 鈴木 寿秋
4. 健康に関する患者の情報ニーズに対する病院の取り組みについて
 - － 慶應義塾大学病院"健康情報ひろば"の紹介
 - － 慶應義塾大学 中田 英夫
5. パネルディスカッション
 - － 本セッションの講演者、並びに 厚生労働省 堀尾 貴将

今後のサイト構築に対して、様々な方々から期待を頂いています

DIA JAPAN 2019 (11/12) にて報告、意見交換

◆ S47 609会議室 11/12 11:00-12:30

消費者・患者さん向けの包括的かつ信頼性の高い医薬品情報システムの構築に向けて

・ 座長 熊本大学 山本 美智子

1. **医療情報のあり方：エビデンスに基づく一般向け情報とシェアード
ディシジョンメイキング**
 - － 京都大学 中山 健夫
2. **製薬企業からの情報提供の現状と今後の展望**
 - － 日本製薬団体連合会 慶徳 一浩
3. **国民に向けた包括的かつ信頼性の高い医薬品情報システムの構築**
 - － 熊本大学 山本 美智子
4. **パネルディスカッション**
 - － 本セッションの講演者、並びに
 - － 株式会社マディア 古川 綾
 - － 厚生労働省 治田 義太郎
 - － **一般社団法人 くすりの適正使用協議会 高橋 洋一郎**

AMED研究班の発表。班会議にも参加し、サイト構築に関する意見交換も行っています

お願い

信頼できるサイト構築に関して
アイデアやご意見がありましたら、
ご連絡ください

今後とも患者さんのためになる
「くすりのしおり」作成に
ご協力をお願いします